

慶應義塾大学アート・センター 【ゲーテと考える近代・現代・未来】



講師

慶應義塾大学文学部教授
アートセンター副所長

糸川 麻里生 Mario Kumekawa

ゲーテの思想は現代にとってどんな可能性を持っているのか—

18世紀半ばから19世紀前半の激動期ドイツに生きたヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテは、その時代を反映するかのよう、きわめて多面的な人物でした。「ファウスト」や「若きウェルテルの悩み」のような歴史に残る文学作品をものただけでなく、小国ながら一国の宰相として政治の実務を行い、独自の構想をもった自然学を実践し、近

代自然科学の超克までも試みています。壮大なビジョンをもった世界と人間の探求は、近代を集約するとともに、近代思想の限界をも予知していました。本講座では、ゲーテの仕事の全体像の把握を試みるとともに、ゲーテ研究から見えてくる「近代以降」の文明の姿を考えます。

糸川 麻里生

11/11 金

18:30-21:30

ヨーロッパ文明の
中のゲーテ

1

なぜ、ゲーテは「ヨーロッパ近代を象徴するような人物」と評されるのでしょうか。第1回は、ゲーテの生涯とその思想にはどのようなヨーロッパの伝統が流れ込んでいるのか、彼の文学作品や自然探求から生まれた色彩論や形態学は、なにゆえ文明論的な仕事と見なされるのか、概説してみたいと思います。

12/21 水

18:30-21:30

普遍学としての
色彩論

4

ゲーテにとって、物心両面に展開しうる普遍的な学問とは、世界が人間にどのような立ち現われてくるかという、現代で言うなら「現象学的」な世界記述を基礎とするものでした。そんなゲーテにとって、色彩の問題は、知覚の哲学的な探求として極めて重要なものでした。今回は、ゲーテが「色」という問題にどう取り組んだのかを論じます。

11/25 金

18:30-21:30

ゲーテ的世界観の
哲学的基礎

2

ゲーテは世界を物質の集合として探求する近代自然科学的な世界観に疑問を突きつけ、「物心」あるいは「主客」の両面を視野に入れた世界探求を行おうとしました。その根本原理は、彼の宇宙創成論である文章と、ライフワークである『ファウスト』にもっとも集約的に表現されています。今回はゲーテのそのような世界観の基礎を描き出します。

1/13 金

18:30-21:30

「かたち」とは何か

5

色彩論と並んで、ゲーテがその世界探求を記述する方法として構想していたのが「かたち」の学問、形態学でした。しかし、「かたち」の問題は、感覚の事柄にとどまらず、あらゆる認識の問題にまで広がっていきます。「かたち」を考えることこそ、ゲーテが「近代」を乗り越えていくために編み出した知的戦略でした。

12/9 金

18:30-21:30

近代の命題と
しての「恋愛」

3

ヨーロッパ近代文学にとって、「恋愛」は中心的テーマでした。ゲーテの文芸にとっても、また実生活においても、「恋愛」は世界観・社会間・文明間を核的に表現するものでした。それはなぜなのでしょう。第3回は思想の問題としての「恋愛」を解明していきます。

1/27 金

18:30-21:30

エコロジーと
社会論・経済論

6

総合学としての色彩論、形態学、さらには音響論や気象論を構想したゲーテは、自然界に存在する様々なシステムをそれぞれの規模における「生態系(エコロジー)」と考えました。この思想は、生物学者ヘッケルを経て、現代の思想の最前線にもつながっていき、生物だけでなく社会システムにまで視野を広げていきます。最終回は、ゲーテのそのような学問的および実践的射程について詳説します。

3千年紀の学問としての思想

- ゲーテの文学作品である『若きウェルテルの悩み』や『ファウスト』、自然探求から生まれた色彩論や形態学など、ゲーテの著作や文章にも触れながら学びます。
- ゲーテの生きた時代、近代、現代、さらに未来へとつながる、3千年紀の学問としてゲーテの思想を探究します。

講師プロフィール

桑川 麻里生(くめかわ まりお)

1962年栃木県生まれ。慶應義塾大学文学部大学院文学研究科(独文学専攻)後期博士課程退学。専門はドイツ文学。『ワールドボクシング』記者、上智大学専任講師を経て、現在、慶應義塾大学文学部教授。

ゲーテ自然科学の集い代表、公益財団法人ドイツ語学文学振興会理事。

開催概要

日程	2016年 11/11(金)、11/25(金)、12/9(金)、12/21(水)、2017年 1/13(金)、1/27(金)
回数	6回
時間	18:30-21:30 (3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円 (消費税8%込)
お勧めしたい方	◎ゲーテの思想・自然学・文学への理解を深めたい方 ◎近代思想への理解を通して現代の問題を思索、議論したい方

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

参加者

講座名	慶應義塾大学アート・センター 【ゲーテと考える近代・現代・未来】	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。 ◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。 ◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。

<https://www.keiomcc.com/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込手数料をご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい [_____] <input type="checkbox"/> 継続受講割引 <input type="checkbox"/> 慶應カード割引
--

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(『夕学五十講』を除く。)

◆20%割引: 108,000円(税込)以上の、『agora』および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合

◆10%割引: 上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合

【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)

【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

『agora』およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきたく存じます。
ご不要の方は右記にチェックをお願いします。